

平成26年8月12日(火)

老球の細道47号

## あるコーチへの目に見えない報酬

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

バスケットボールのコーチは厳しい現実と向き合いながら、ほとんどが無報酬で情熱的に頑張っている人たちがほとんどである。なぜこれほどまでにがんばれるのかはコーチ業界の人たちにしかわからない。その秘密は「目に見えない報酬」が時としてボーナスのごとくドカーンと与えられるからである。それも20年、30年たって忘れた頃に。

最近、若松二中のコーチである金道先生から素晴らしい「目に見えない報酬」の話聞いた。金道先生は学生時代から文武両道に秀でた根性のプレーヤーで、常に研究心旺盛で理論的な指導を目指す、厳しく温かい優秀な指導者でもある。金道先生から中学時代にバスケットボールの指導を受けた教え子S君からの手紙である。手紙の内容が報酬である。

【実は、数年前からずっと金道先生に、きちんとした手紙を書いてお礼を言いたいと思いつづけていましたが、仕事も忙しくなかなか落ち着いてペンを持つ時間を作れずにおりました…。私は会津高校を卒業してから、東北大に入り、親の理解もあり博士課程まで勉強させてもらい、東北大の助教を6年間勤め、今はつくばにある物質・材料研究機構という国の研究機関の研究員をしております。研究は磁性材料を使った新しいエレクトロニクスや熱電発電といったエネルギー関係のテーマに取り組んでいます。(中略)

“研究”という仕事は未知への挑戦で大変楽しくやりがいがある仕事ですが、多くのことは失敗ばかりで、一つの成果を得るのに大変な苦勞が伴い、ときには非常に落ち込むこともございます。それでも、飛び抜けた才能などない私ですが、研究の世界で何とか10年間頑張り、世界的にも認められる研究成果を徐々に挙げられてきております。

この世界にいるといつも考えさせられます。人より自分が優れている”長所”は何なのかと。自己の長所を理解し伸ばし活かすことが、成功への不可欠なことだと思うからです。そのことを考えたときに、何よりも誇りを持って言えるのが、中学時代にバスケを通じ金道先生の指導によって培われた、自分の中にある、”忍耐”や”情熱”です。もっと上を目指したい! 世界一の成果を出したい! その一心で、食欲に、人が寝ている間だけ実験する、この10年間、その頑張りには誰よりも自信を持っています。がむしゃらにやることは、ときには他人から馬鹿にされ見下されすらすらすることもありますが、自分はそういうやり方に誇りを持っています。

“体力があるときに頑張ることは誰にだってできる、疲れているときこそ真価をみせるとき”そう指導されていた金道先生の言葉を今でもよく思い出します。まだまだ未熟な自分ですが、この10年の成果が認められて若手研究者を奨励する以下のような賞を頂いてきました。中学や高校のバスケを通じて、金道先生が自分に”情熱”という才能・長所を与えてくれなかったら、凡庸な自分がこういった賞を頂くことは決してなかったらろうといつも思っています。本当に心から感謝しております。ありがとうございました】

日本の頭脳が集まる集団の中で負けじと奮闘する金道先生の教え子S君からの感謝のメッセージは、目に見えないすばらしい報酬である。S君はバスケットボールを通して人生を学んだ。金道先生はバスケットボールを通してすばらしい仕事を残した。

こんなことが時としてあるからコーチはやめられない。カップ海老せんなど比ではない。